



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 タカノ株式会社 上場取引所 東
コード番号 7885 URL <https://www.takano-net.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷹野 準
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大原 明夫 TEL 0265-85-3150
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	17,591	14.6	201	62.3	313	59.9	285	149.4
2023年3月期第3四半期	15,349	3.0	124	△38.2	195	△24.3	114	△31.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 610百万円 (83.5%) 2023年3月期第3四半期 332百万円 (59.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	18.75	ー
2023年3月期第3四半期	7.52	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	38,321	31,023	81.0	2,038.13
2023年3月期	39,380	30,686	77.9	2,016.00

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 31,023百万円 2023年3月期 30,686百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	ー	0.00	ー	18.00	18.00
2024年3月期	ー	0.00	ー		
2024年3月期（予想）				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,900	12.4	1,250	25.1	1,400	26.9	1,000	20.6	65.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	15,721,000株	2023年3月期	15,721,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	499,420株	2023年3月期	499,420株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	15,221,580株	2023年3月期3Q	15,221,580株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の見通しの前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日）におけるわが国経済は、内外の金利差による為替変動や、中国での景気後退観測の影響を大きく受けたものとなりました。今後についても、国内でのウイズコロナの定着化が進む一方で、原材料やエネルギー価格など、先行き不透明な状況が続くと思われま

す。このような状況において当社では、半導体関係の需要増に応えるべく、生産体制の整備・事業構造のシフトに努めるとともに、原材料価格・仕入れ価格の上昇の当社製品価格への転嫁などの対応を進めてまいりました。

この結果、主に検査計測機器事業および産業機器事業の販売の増加により、当第3四半期連結累計期間の売上高は17,591百万円で、前年同四半期比2,242百万円、14.6%の増収となりました。

利益面につきましては、原材料価格の上昇による利益率の悪化および販売強化や生産体制強化にともなう固定費等が増加したものの、販売増加にともなう粗利益額の増加により、営業利益201百万円（前年同四半期比77百万円、62.3%の増益）、経常利益313百万円（前年同四半期比117百万円、59.9%の増益）となりました。また、特別損益に保有する投資有価証券の売却損益を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は285百万円（前年同四半期比170百万円、149.4%の増益）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同四半期との比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりです。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	7,261	7,681	5.8%	△395	△490	－%
検査計測機器	4,083	5,456	33.6%	94	104	10.4%
産業機器	2,224	2,621	17.9%	375	529	40.9%
エクステリア	671	673	0.3%	△7	△5	－%
機械・工具	1,109	1,158	4.4%	66	49	△25.4%
報告セグメント計	15,349	17,591	14.6%	134	187	39.3%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△9	14	－%
合計	15,349	17,591	14.6%	124	201	62.3%

(住生活関連機器)

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司および株式会社ユーキ・トレーディングで構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子および体外診断用医薬品等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、働き方の変化に対応した新たなオフィスの価値を創造するオフィス家具の開発・生産に注力してまいりました。

この結果、今年度はオフィス家具全般としては需要に回復の傾向が見られた一方でWEB会議需要により好調であった個室空間製品の需要に一服感があり、売上高は7,681百万円で前年同四半期比420百万円、5.8%の増収となりました。一方、利益面では固定費の圧縮には努めたものの、円安による仕入れ部材価格の上昇による利益率の悪化等により、セグメント損失は490百万円（前年同四半期はセグメント損失395百万円）となりました。

(検査計測機器)

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶や半導体・高機能フィルム用の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、引き続き設備投資需要が拡大している半導体関連検査装置や電池部材向け検査装置の開発、販売に注力してまいりました。

この結果、売上高は5,456百万円で前年同四半期比1,373百万円、33.6%の増収となりました。利益面においては、販売増加にともなう粗利益額の増加等により、セグメント利益は104百万円（前年同四半期比9百万円、10.4%の増益）となりました。

(産業機器)

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司（鷹野電子（深圳）有限公司含む）およびTakano of America Inc. で構成され、主に電磁アクチュエータ・ユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、半導体製造装置業界の好調を受け、電磁アクチュエータの増産体制の整備ならびに販売拡大に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は2,621百万円で前年同四半期比397百万円、17.9%の増収となりました。利益面では生産体制の拡大による設備投資や人員増加などの固定費の増加等があったものの、販売増加による粗利益額の増加により、セグメント利益は529百万円（前年同四半期比153百万円、40.9%の増益）となりました。

(エクステリア)

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、インバウンド需要を捉えたホテル・レストラン業の事業回復を睨み、WEBを活用したプロモーション等の販売促進活動に注力してまいりました。

この結果、売上高は673百万円で前年同四半期比2百万円、0.3%の増収となりました。利益面ではセグメント損失5百万円（前年同四半期はセグメント損失7百万円）となりました。

(機械・工具)

当セグメントは、連結子会社株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業です。

当セグメントにつきましては、新規顧客の開拓および既存顧客の需要掘り起こしに注力してまいりました。この結果、売上高は1,158百万円で前年同四半期比48百万円、4.4%の増収となりました。一方、セグメント利益は49百万円で、前年同四半期比16百万円、25.4%の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して663百万円減少の24,435百万円となりました。これは主に、前連結会計年度末にかけて販売を行った製品の代金回収が進んだこと等により、現金及び預金が1,506百万円、前連結会計年度末は固定資産の投資その他の資産に計上していた投資有価証券の一部を流動資産に組替えたことにより、有価証券が200百万円、商品及び製品が200百万円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が1,901百万円、仕掛品が738百万円減少したこと等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比較して396百万円減少の13,886百万円となりました。これは主に、減価償却費の計上等により有形固定資産合計が201百万円、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が144百万円減少したこと等によるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は38,321百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,059百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,366百万円減少の6,325百万円となりました。これは主に、賞与引当金が214百万円、検査計測装置の大口物件の売上計上により契約負債が1,092百万円減少したこと等によるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は7,297百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,396百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して336百万円増加の31,023百万円となりました。これは主に、保有する有価証券の時価評価額の上昇により、その他有価証券評価差額金が246百万円、円安の進行による為替換算調整勘定が83百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の77.9%から81.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績につきましては、現時点で2023年5月12日に公表しました業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,967,014	9,473,223
受取手形、売掛金及び契約資産	9,933,260	8,031,710
有価証券	—	200,000
商品及び製品	882,672	1,083,495
仕掛品	4,280,979	3,542,679
原材料及び貯蔵品	1,820,585	1,916,792
その他	214,275	187,469
流動資産合計	25,098,788	24,435,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,356,064	3,193,060
機械装置及び運搬具（純額）	1,061,906	931,851
土地	4,236,283	4,236,283
その他（純額）	693,164	784,223
有形固定資産合計	9,347,419	9,145,419
無形固定資産		
のれん	251,928	214,139
その他	175,459	179,392
無形固定資産合計	427,388	393,532
投資その他の資産		
投資有価証券	3,315,548	3,305,739
その他	1,198,064	1,048,406
貸倒引当金	△6,223	△7,001
投資その他の資産合計	4,507,389	4,347,144
固定資産合計	14,282,197	13,886,096
資産合計	39,380,985	38,321,467

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,761,288	1,396,961
電子記録債務	2,372,075	2,639,824
未払法人税等	80,487	42,718
契約負債	1,805,347	712,476
賞与引当金	493,553	279,002
製品保証引当金	15,610	21,468
その他	1,164,486	1,233,448
流動負債合計	7,692,847	6,325,899
固定負債		
長期借入金	198,410	154,000
退職給付に係る負債	544,769	557,526
資産除去債務	4,637	4,667
その他	253,657	255,840
固定負債合計	1,001,474	972,034
負債合計	8,694,321	7,297,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,360,246	2,360,246
利益剰余金	25,925,219	25,936,614
自己株式	△259,302	△259,302
株主資本合計	30,042,062	30,053,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	462,408	708,430
為替換算調整勘定	185,531	269,364
退職給付に係る調整累計額	△3,338	△7,719
その他の包括利益累計額合計	644,600	970,075
純資産合計	30,686,663	31,023,533
負債純資産合計	39,380,985	38,321,467

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	15,349,920	17,591,998
売上原価	11,849,765	13,670,556
売上総利益	3,500,154	3,921,442
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,056,629	1,179,805
賞与引当金繰入額	91,202	106,984
退職給付費用	43,597	47,348
研究開発費	534,342	527,585
その他	1,650,047	1,857,898
販売費及び一般管理費合計	3,375,820	3,719,622
営業利益	124,334	201,819
営業外収益		
受取利息	14,187	12,559
受取配当金	38,850	44,338
その他	47,236	67,888
営業外収益合計	100,274	124,786
営業外費用		
支払利息	1,704	1,927
固定資産除却損	865	3,093
コミットメントフィー	5,085	1,952
為替差損	14,179	2,725
その他	6,894	3,745
営業外費用合計	28,730	13,444
経常利益	195,878	313,161
特別利益		
投資有価証券売却益	—	256,308
特別利益合計	—	256,308
特別損失		
在外子会社における送金詐欺損失	—	84,023
投資有価証券売却損	—	20,531
特別損失合計	—	104,555
税金等調整前四半期純利益	195,878	464,913
法人税、住民税及び事業税	64,501	129,458
法人税等調整額	16,968	50,072
法人税等合計	81,470	179,530
四半期純利益	114,408	285,383
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,408	285,383

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	114,408	285,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86,280	246,021
為替換算調整勘定	133,035	83,833
退職給付に係る調整額	△799	△4,380
その他の包括利益合計	218,516	325,474
四半期包括利益	332,925	610,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	332,925	610,858
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	7,142,868	4,083,344	2,224,430	671,205	1,109,617	15,231,467
その他の収益	118,453	—	—	—	—	118,453
外部顧客への売上高	7,261,321	4,083,344	2,224,430	671,205	1,109,617	15,349,920
セグメント間の内部売上高又は振替高	77,427	1,491	51,127	7,369	488,239	625,657
計	7,338,749	4,084,836	2,275,558	678,575	1,597,857	15,975,577
セグメント利益又は損失(△)	△395,541	94,747	375,969	△7,282	66,366	134,259

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	134,259
セグメント間取引消去	△9,925
四半期連結損益計算書の営業利益	124,334

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連機器	検査計測機器	産業機器	エクステリア	機械・工具	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	7,550,187	5,456,970	2,621,842	673,278	1,158,518	17,460,797
その他の収益	131,201	—	—	—	—	131,201
外部顧客への売上高	7,681,388	5,456,970	2,621,842	673,278	1,158,518	17,591,998
セグメント間の内部売上高又は振替高	94,966	6,756	55,645	10,845	291,719	459,933
計	7,776,355	5,463,727	2,677,487	684,123	1,450,237	18,051,932
セグメント利益又は損失(△)	△490,800	104,623	529,615	△5,893	49,537	187,081

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	187,081
セグメント間取引消去	14,737
四半期連結損益計算書の営業利益	201,819

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来各セグメントに配分していた新規事業に係る費用について、事業化の見込みがたったことにより管理区分の見直しを行い、報告セグメントの区分を「住生活関連機器」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。